

森林ボランティア「オホーツクの会」だより

2022年12月 No.59

秋の森林散策会

コケ・シダも

すばらしいアカエゾマツの森

10月16日、オンネトー散策路（足寄町）で27名（含む常呂川FC3名）の参加により秋の森林散策会を行いました。

少し肌寒いながらも（歩いているとちょうど良い）天候に恵まれ、雌阿寒温泉からオンネトーキャンプ場まで、4班に分かれておよそ2時間の散策です。



樹齢200年を超えるアカエゾマツの純林（火山性土壌のため他の樹木は生育しづらいそうです）、足もとには地表を覆い尽くす何種類ものコケとシダ、あちこちに見える倒木や切り株から生える稚樹（倒木更新・根株更新というそうです）に目を奪われます。

湖畔が近づくと、ポツポツと広葉樹が現れはじめ、紅（黄）葉の美しさを感じます。

また、途中にシャクナゲの群生地があり、花の時期（6月末～7月上旬）に歩いてみたいと思われました。



スタート前に準備体操です

キャンプ場で昼食の後、バスに乗り込み、帰路に立ち寄った道の駅あいおいでは、名物のクマヤキや豆腐・揚げなどを買い込み、楽しい一日を終えました。

【参加者多数のため氏名省略します】
〈渋谷〉

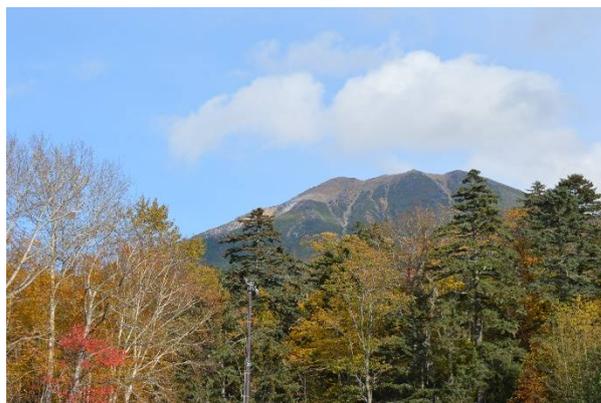
秋の森林散策会

自然界のすごさに感動！

秋晴れの中、バスの窓からも色づく木々が美しく眺められ、散策には最高の一日、雌阿寒温泉からキャンプ場まで、森林から湖畔までの約4kmを歩きました。

大きな岩にしっかり根を張っているアカエゾマツの大木や風害などで倒れたり、切り倒された木にびっしり生えている色々な種類の苔、そして、その中に生えてきた幼木など、厳しい条件の中で命をつないでいく森林（倒木更新）の姿が見られ、自然界のすごさに感動しました。

湖の周りは、少し自生している樹木の種類が変化していて、土壌が豊かになっていることを知りました。



ゴールのキャンプ場でお弁当を食べ、バスの駐車場から見える雌阿寒岳の雄大な姿に感動し、しっかり写真に収めて帰ってきました。

＜菅野 真奈美＞（7月入会）

秋の森林散策会

森林散策の楽しみ知る

森の中を歩きながら、木や草花の名前を教えてください、切り株の年輪を数え、巨木の周囲を測り、覆いつくす苔の美しさにふれ、澄み切った空気の中、爽快な森林浴で森林散策の楽しみを知りました。



岩石を抱えてたくましく生長する木、朽ちて土に還りつつある倒木、親木の根元に育っている小さな木、森は生きてると実感しました。

オホーツクの会の皆さん、ありがとうございます。

＜齊藤 直美＞（10月入会）

自然に学び隊

じっくり観察 ゆっくり散策

10月3日、秋の森林散策会の下見を兼ねて、14名（含む常呂川FC2名）の参加によりオンネトーで自然に学び隊活動を行いました。

雌阿寒温泉からオンネトーキャンプ場の散策路を歩きながら、アカエゾマツ純林となった理由やシダ・コケ・キノコなどについて学びましたが、「散策会では名前を知ることよりもどんな環境でどんな生活しているか、森の中でどのような役割を果たしているかを知ること、美しさ、素晴らしさを感じることをメインすること」を確認しました。



散策会では時間的制約もあってなかなかできない「じっくり観察」「写真撮影」「ルート外の寄り道」などを楽しみながら、ガイドポイント、散策ルート、所要時間、昼食場所、集合写真の場所などを確認し、隊活動を終わりました。

なお、参加者は次の通りです。

【小島、小山、吉田正、植村、渋谷、大戸、土門、森田、小畑、佐々木澤野、吉田昭】

<吉田昭>

なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに…)

オンネトー（秋の森林散策会）では、多くのコケやシダを観察することができ、魅せられました。（参加できなかった会員には申し訳ないけど・・・）

そこで今回は、コケ・シダの問題です。

コケ・シダと樹木・草本との違いは、樹木・草本類（被子植物・裸子植物）がタネで増えるのに対して、コケ・シダ類は胞子で増える点です。

ところで、シダとコケの違いって何？わかりますか？



森へおいでよ！ パネル展

クラフト作りを楽しむ

9月2～11日（展示作業は1日）、北見市緑のセンターで「森へおいでよ！パネル展」を常呂川FCとの共催で行いました。



コロナ禍（緑のセンターの利用不可）により、3年ぶりの実施です。

期間中およそ250名の来場者があり、吉田会長のクラフトや常呂川FCの自動撮影カメラに写った動物などに見入る方もいました。

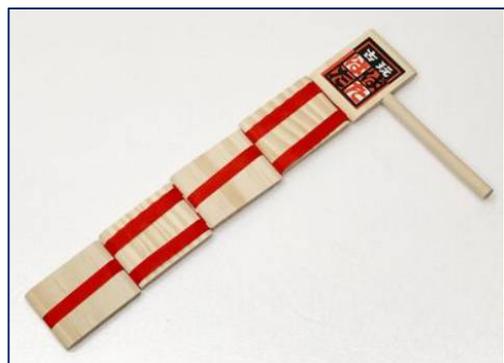


終盤の土・日には、緑のセンター裏山の緑ヶ丘森林公園のミニ散策会やクラフト作成にも取り組みました。

天候に恵まれすぎ（快晴でドライブ日より？）、来場者はポツポツで「混雑時のコロナ感染対策をどうするか？」という相談も無駄になってしまいました。

う相談も無駄になってしまいました。

そんな中、人気だったのは長谷川さんのパタパタ（正式には「板返し」



「からくり屏風」というそうです）、その不思議な魅力に子どもだけでなく大人も一緒に取り憑かれていました。

パネル展示や会場の案内、クラフト作成等に協力いただいた皆さん、お疲れ様でした。

【氏名省略します】

<小島>

炭づくり隊 & 色々食べ隊

雨にも負けず！

10月29日、22名（FC3名含む）の参加により、炭づくり隊&色々食べ隊活動を行いました。

それぞれ持ち寄った素材を炭にする時間を利用して、炭焼き班・調理班・食材（ヤマブドウ等）調達班に分かれて行動開始です。

調理班は、豚汁、汁粉、豚串、カボチャ・ジャガイモの団子などを分担しながら進めますが・・・開始直後から降り出した雨が本降りになり、途中で調理場所を「森の家」へ移動というハプニングにも見舞われながらも、豪華(?)なメニューを完成させました。

食材調達班は、目当てのヤマブドウは少なめの収穫でしたが、この時期としては珍しく残っていたサルナシ（コクワ）を大量にゲット、「キウイみたい、あま〜い！」を連発していました。

そして、肝心の炭焼き班は、火の気を絶やすことなく、焼き物をこがすことなく、そのため長時間ストーブから離れることができません。

雨に打たれながら、時々雨宿りしながら、焼き物を食べるみんなの笑顔を想像しながら頑張りました。



片付けを終え、北見市内に戻ってきたら青空・・・今年最後のイベントは天気にとたられました。

なお、参加者多数のため氏名省略します。

<小島>



炭づくり隊&色々食べ隊

ブドウ&コクワ採りは 熊の気持ち？

朝から曇天で、雨が降らないことを願いながら家を出ましたが、オホーツクの森について準備を始める頃から降ってきました。

私は、ヤマブドウ狩に参加し、熟して甘いコクワを2ヶ所で収穫、ヤマブドウも2ヶ所で収穫できました。

広げたブルーシートに木を揺すり振り落としたのは、まるで熊の気持ち、童心に返った楽しい時間でした。

コクワとヤマブドウは自然の酸味が程よく、美味しいジャムになりました。



雨は降り止まず、「森の家」でブタ串、ウインナー、カボチャ、ジャガイモ等の炭火焼き(?)やカボチャ団子、豚汁、おしるこ等、どれもこれも本当に美味しく、たくさん口にしました。

楽しい企画をしてくださるスタッフの方々や雨にもめげず準備し、色々作ってくださった方々に感謝いたします。本当に楽しい秋の味覚を満喫した一日をありがとうございました。

<森田 陽子>

【なるほどクイズ】 答え

シダは根・茎・葉と分かれているのに対して、コケにはその区分がありません。



コケの根は仮根といい、身体を固定する役目を果たしていますが、水分の吸収は根だけでなく身体全体で行っています。

難しい言葉では、維管束(いかんそく:水や養分を運ぶ器官)があるかどうかコケ・シダの分かれ目です。

第2回森林づくり塾

林業のイメージ変わる

10月1日、第2回森林づくり塾（主催：常呂川FC）が18名（常呂川FC 3名含む）の参加で行われました。

今回のイベントでは、バスの乗り入れが厳しい道路（林道・作業道）を走行するため、最初からワゴン車3台に分乗しての行動です。

午前中は、自然再生モデル林（カミネッコン植樹地）の枯死などにより消失した箇所へ植えるための苗木取りです。

作業道沿いに生えている小さなミズナラ（成長すると車が走れなくなるので取り除く必要がある）を傷めないように掘り起こして「森の家」に移植、新しい根が張るのを待つ森の中へ植えるそうです。

午後からは、「いったいどこへ・・・」と不安になるくらい車に揺られ、着いた先は伐採現場、チェーンソーでの伐倒、大型機械での伐倒・枝払い・玉切りなどを見学しました。

大型機械を導入することにより、作業が「楽に、早く、安全に」進められるとの説明に納得、林業のイメージが変わりました。

作業の大半が大型機械で進められることに驚き、そして何よりも、20代30代の若い人がたくさん働いていることにびっくりです。



こんな機会を与えてくれた常呂川FCの皆さん、そして忙しい中協力していただいた赤坂木材の皆さんに感謝です。

なお、参加者氏名は省略させていただきます。

<渋谷>

第6回森いく活動

汗だくです

「第6回森いく活動」は、9月13日（火）、少数精鋭（6名）で行ないました。

今回は、10月予定の森林づくり塾で掘り採った苗木を保育・管理するための苗床作成とふれあいの森協定に基づく展望台周辺の整備です。

苗床作成は、せっかくの苗がエゾシカやエゾユキウサギなどの食害に遭わないよう杭を立て周囲をネットで囲う作業で皆汗だくになっての作業でした。

ふれあいの森活動では、展望台の下への通路整備に一苦勞、こちらも汗だくの作業になりました。

午後からは、常呂川FC近藤さんの案内で森の家周辺の樹種名を当てるクイズ、答え合わせしながら木の特徴などを学びました。

普段、分かっているつもりでも、問題として出されると・・・力量不足を感じさせられました。

なお、参加者は次の通りです。

【吉田昭、小山、植村、吉田正、渋谷、小島】

<小島>

木々に関するつぶやき

【ナナカマド】

高さ15mほどになる落葉広葉樹で葉は奇数羽状複葉で秋に赤く紅葉し、公園樹・街路樹として植えられる。

6月頃に白い花、秋に赤く熟し、寒さに当たった1~2月、野鳥がついばむ姿を目にする。



ナナカマドの名前は、高級炭（備長炭）の原料ウバメガシに材質が似ており、炭に仕上げるまで7日間窯に入れることに由来する。

第7回森いく活動

工大生も参加！

木橋掛け替え

「第7回森いく活動」は、10月11日（火）、北見工業大学の2年生2名を含めて7名の参加で古の森遊歩道の木橋掛け替えを行いました。

古の森遊歩道は作設から15年以上経過し、木橋の腐朽が進んでいることから2018年から掛け替えを進め、今回で4ヶ所目（残りは1ヶ所）です。



資材等の運搬を含めてかなりの重労働で、高齢者集団にはキツイ！ところですが、今回は常呂川FCの呼びかけで北見工大生が「地域に役立つことをしたい」とボランティアで協力していただいたおかげで比較的楽に、楽しく、作業を進めることができました。

作業は、古い橋の解体・撤去と新たな橋の設置に分かれて進められ、古い橋の解体では、動かしたとたんに丸太が折れ「危なかった！」状態だったことがわかりました。



工大生からは「難しい部分もあったけど自然相手に楽しかった。また参加したい。」という頼もしい感想もありました。

なお、会の参加者は次の通りです。

【吉田昭、小山、植村、
吉田正、小島】
＜小島＞

Let's 森林歩き

楽しい！足跡探し



冬の森林散策（野山歩き）の楽しみのひとつにフィールドサイン（動物たちの生活痕）を見つけるということがあります。

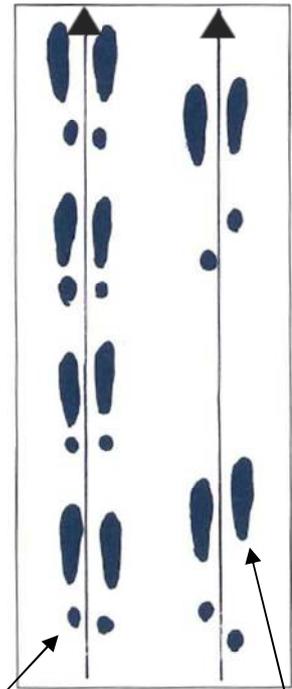
特に、足跡は雪の上に残り見つけやすいので、そこでどんな動物が、どんな生活をしているかを想像しながら森林を歩いてみましょう。

足跡以外にもフンや食痕なども見つけやすい季節です。

山スキーやスノーシューで歩く新雪の世界は格別なものがあります。

冬期間の運動不足解消にも最適、装備を調べて、冬の森林へ向かいましょう。

エゾユキウサギ



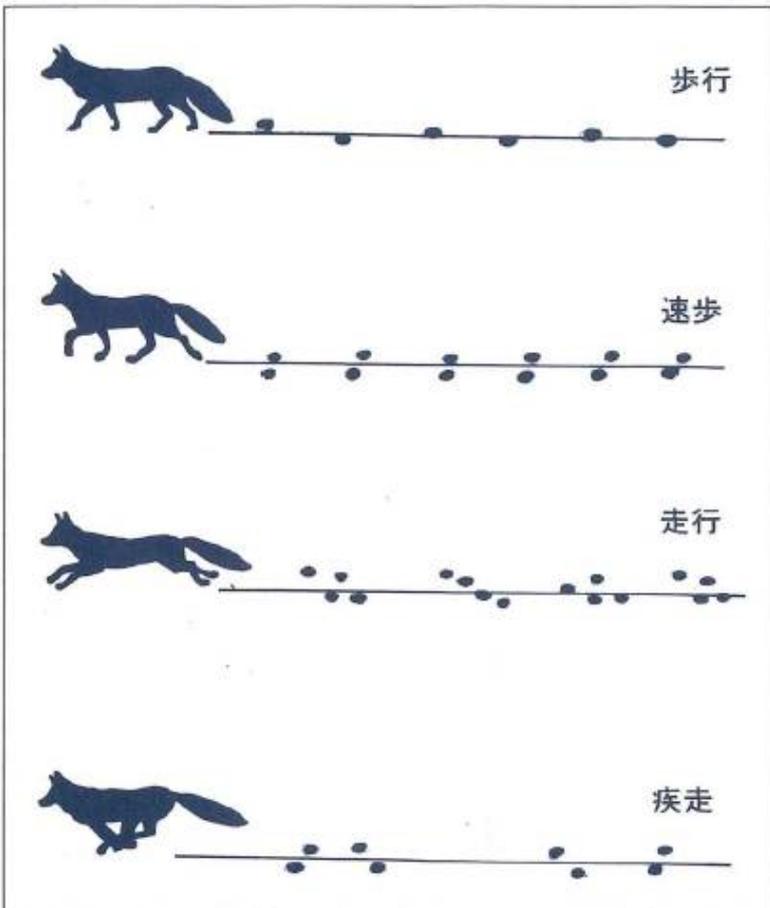
前足 後足

エゾリス



歩行

キタキツネ



お知らせ

新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、できるだけメール h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川FCアドレス) でお願ひします。

<イベント名、氏名(カナ)、住所、郵便番号、生年月日、連絡先> (様式は任意)

○冬の自然観察会

月 日 2023年3月 4日(土)

常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます

出発 8:30 (受付8:00~)

場 所 神の子池(清里町)

内 容 スノーシューをはいての森林散策・自然観察他

持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等

(スノーシューは無料で借りることができますが、お持ちの方はご持参ください)

参加費 200円(保険料等)

申込み 2月21日(火)まで

予定人員(20名)を上回った場合は抽選とします



○2月20日(月)、観察会の下見を兼ねた「自然に学び隊」活動を行います。参加希望者は2月14日(火)までに連絡願ひます。

(詳細は、参加希望者へ連絡します。)

○第16回総会&研修会

月 日 2023年 3月12日(日) 10:30~

場 所 北網圏文化センター 講座室

研修会 10:30~12:00

テーマ 「ヒグマの生態と共存の道」(仮題)

講 師 知床財団を予定

(研修会については調整中ですので、テーマ・講師とも変更となる場合があります。なお、研修会のみ、総会のみ参加も可能です。)

昼食休憩後、総会を開催します。

常呂川森林ふれあい推進センターでは、デジタル化推進の政府方針を受けFAX利用を縮小（中止ではありません）することとなりました。

これを受けて、「オホーツクの会」のイベント等の受付についても原則メール（電話・ハガキ・fax可）とします。

何かとご不便をおかけしますがよろしくお願い致します。



(アドレスが表示されます)

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



— 納入方法 —

- ・ 会が主催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の口座（ゆうちょ銀行）に振り込む（手数料がかかります）

ゆうちょ銀行（郵便局）から振り込む場合

【記号 19960 番号 08073231】

他の金融機関から振り込む場合

【店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 メール h_tokoro_f@maff.go.jp